

平成27年度
事業報告書

平成27年4月1日～平成28年3月31日

公益財団法人 北陸体力科学研究所

平成 27 年度 事業報告について

公益財団法人 北陸体力科学研究所は、地域住民の健康増進の向上を目指し、健康増進施設の運営や体力向上及び生涯スポーツ支援、公衆衛生・健康管理など様々な研究・実践の普及事業を行い、地域に良質な健康サービスを提供しています。また、公益財団法人として適切な法人運営に努めるとともに、公益目的事業を中心とした事業活動を継続実施しております。

1. 健康増進施設の運営（公益目的事業 1）

平成 27 年度 予算 239,150 千円 実績 236,337 千円 予算比 98.8%（前年比 100.5%）

研究事業として、健康増進、体力向上に寄与する研究を、関係学会にて 8 件の発表を行いました。

健康増進施設の運営として、ダイナミックでは幅広い年齢層の利用者に対し、生涯スポーツの振興を目的にレッスン、イベント、健康ミニ講話の実施や夏祭りの開催、また、幼児期を含む子供の発育発達段階に合わせたジュニアスクールの開催、文化・スポーツの発展につながるカルチャースクールの運営を行いました。ダイナミックの年間延べ利用者数は 246 千人となり、前年比 1,800 人の増加となり、個人会員数も 1,700 人で前年比 26 人増加、ジュニアスクールの登録者数も 522 人となり前年比 26 人増加しました。

昨今、企業経営者において従業員の健康保持、増進を通して企業イメージの高揚と生産性の向上を図る「健康経営」がますます重要になってきたと言えます。ダイナミックでも法人会員加入に力を入れ、新規に 11 件の法人が入会され、法人契約数は 51 件となりました。

一方、小松市符津町のウエルダイナミックは平成 27 年 9 月に模様替えを行い、女性専用の施設としてリニューアルをしました。会員数は 128 人（前年比 4 人増加）となり、地域のニーズに合ったサービス提供を行いながら、今後の利用者拡大に期待しているところです。

2. 健康づくりや体力向上の支援・研究事業（公益目的事業 2）

平成 27 年度 予算 58,796 千円 実績 62,383 千円 予算比 106.1%（前年比 96.8%）

健康づくり、健康意識の啓蒙普及などを目的に、介入企業 7 社及び勝木グループに対し、生活習慣病改善事業を実施するとともに、自治体及び企業、保育園等に年間を通して随時講師を派遣し、健康づくり・体力向上支援事業を実施しました。

また、能美市温泉保養館クアハウス九谷では、ビー・エム北陸との協同企業体として 2 年目の指定管理に入りました。年間延べ利用者数は 357 千人で前年比 14 千人増加し、個人会員数は 1,647 人となり、法人会員は 8 社増え、51 社となりました。指定管理の運営上、経営の安定化を図るため、能美市の理解を得て利用料・会費の値上げを、平成 28 年 4 月から実施しています。

さらに、スポーツ教育やトレーニング支援、競技力の向上を目的に、カヌー競技ナショナルチームへの介入、石川県の委託事業として児童生徒の体力・運動能力の向上支援（3年目）、小松市の委託事業としてアスリートや小・中・高生への科学トレーニング支援を実施しました。また、小松市のジュニアアスリートの育成を目指し、こまつ体育大学を開校、学童やその親御さんにも参加をいただき、食育セミナー等も行いました。

また、31回目となるこまつクロスカントリー大会は、自然に親しみながらスポーツを楽しむ大会として好評を得ており、1,013人の参加がありました。

3. 公衆衛生・健康管理事業（公益目的事業3）

平成27年度 予算 32,061千円 実績 31,170千円 予算比 97.2%（前年比 71.9%）

安全で効果的な運動を処方するためのメディカルチェックを年間663人に実施しました。体組成測定は1,721件実施しました。集団的運動療法として、健康いろは塾を週に4回開催し、個別的運動療法として、カウンセリング、パーソナルコンデショニングを285人に実施しました。

一方、職域の従業員の健康づくりを目的に、産業医活動の受託先29社に対しては、医師、保健師などのチームで職場環境改善に取り組みました。また、特定保健指導の受託先に対しては、延べ640人の方に生活習慣改善の指導を実施しました。

4. いしかわ総合スポーツセンターの指定管理事業（公益目的事業4）

平成27年度 予算 51,852千円 実績 58,936千円 予算比 113.7%（前年比 100%）

いしかわ総合スポーツセンターで管理受託するトレーニングルームとプールの年間延べ利用者数は192千人になり、前年比12,500人増加しました。

5. 財務面では

経常収益416百万円、前年比▲15百万円の96.4%で要因は予防接種と自治体の受託事業が減り、経常費用401百万円、前年比▲26百万円の93.8%で、要因は医薬品の仕入れの減少、人件費と福利厚生費の減少、水道光熱費、減価償却費の減少し、費用が11百万円減少した結果、当期経常増減額14百万円と前年比10百万円増加の計上となりました。

尚、この公益財団法人は収支相償として、収入が費用の額を超えてはならないルールがあり、また、収益事業において収益の一部を公益目的事業に使用するルールがあります。

6. 平成 28 年度臨時理事会で設備計画の提案

1) 介護予防事業拡張積立資産 8,800,000 円の取り崩し

平成 23 年度 4,400 千円と平成 24 年度 4,400 千円にそれぞれ積立分

- ・ 計画期間 平成 28 年度～平成 30 年度
- ・ 設備・諸経費 有酸素運動用マシン一式 増設 2 台、入替え 2 台
筋トレマシン一式 増設 1 台 及び付帯費
マシンフロアの床等張り替え等、諸経費 合計 9,300,000 円
- ・ 自己資金 500,000 円の調達

2) 平成 27 年度に発生した 15,300,906 円の公益目的事業から生じた余剰金につきましては、平成 29 年度から平成 31 年度において特定費用準備資金の計画を立てて取り崩す予定です。

以上

平成 28 年 6 月 23 日

業務執行理事 今堀 秀二

(公益目的事業1)

健康増進及び体力向上に関する研究並びに運動療法実践施設の運営事業

1-1. 健康増進及び体力向上に関する研究事業

栄養、運動、生活及び保養の科学的プログラムの研究開発と普及実践をはかり、広く住民の健康増進、体力向上に寄与するために研究事業を行うとともに、その研究内容は、各学会での発表をはじめとして、広く社会一般に公表する。

1-1-1 研究内容

- (1) メディカルチェックのデータ活用 中長期研究計画の立案
- (2) 整形外科疾患など、ロコモティブシンドロームの運動療法に関する研究
- (3) 内科・循環器科、整形外科疾患等の運動療法に関する研究
- (4) スポーツ医科学サポート（競技力向上）に関する研究
- (5) 特定保健指導事業についての研究
- (6) 子どもの体力・運動能力向上に関する研究

1-1-2 学会等の参加

期日	内容	担当
H27年5月13日、 14日、15日、16日	第88回日本産業衛生学会大会（大阪府）	勝木建一理事長
5月17日	第27回日本体力医学会北陸地方会大会（石川県） 松儀 「カヌースプリントナショナルチームの合宿における障害発生状況とコンディショニングサポートの概要」 中井 「健康増進施設と医療機関のシームレスな連携による健康づくり支援の効果」 秋山 「健康増進施設利用者におけるロコモティブシンドロームの現状と求められる支援内容」	勝木建一理事長 松儀、中井 秋山

平成27年度 事業報告
(公益目的事業1) 健康増進及び体力向上に関する研究並びに運動療法実践施設の運営事業

7月4日	第27回日本運動器学会(宮崎県) 「ロコモティブシンドロームと メタボリックシンドロームの関連」	松儀
9月5、6日	第34回日本臨床運動療法学会(東京都) 「健康増進施設利用者の ロコモティブシンドロームと支援体制の検討」	秋山
10月3日、4日	第31回東海北陸理学療法学会(石川県) 「肥満が地域住民の ロコモティブシンドロームに及ぼす影響」	松儀
11月7日、8日	第26回日本臨床スポーツ医学会学会(兵庫県) 「糖尿病がロコモティブシンドロームに及ぼす影響」	松儀
H28年2月14日	第4回福井運動器理学療法学会(福井県) 「3種類のロコモ度テストの 複数活用法についての検討」	松儀

1-2 健康増進施設の運営事業

栄養、運動、生活及び保養の科学的プログラムの普及実践の場として、利用者にはメディカルチェックを実施し、ライフスタイルや健康状態、体力などを確認するとともに、一人ひとりに合った個別のプログラムを提供し、医師、保健師、理学療法士、管理栄養士、健康運動指導士等が、専門的な立場から支援する。

運動の実践においては、幅広い年齢層や体力レベルに対応したレッスンプログラムを提供し、楽しく継続できるようにするとともに生涯スポーツの振興を図る。

さらには、地域住民に対する健康増進・健康づくりの啓蒙普及活動も行う。

1-2-1 スポーツコミュニティダイナミックの運営

通年	メディカルチェックの結果に基づく、健康増進および運動療法の指導・実践	受診者 663人/年 (目標600人/年)
通年	レッスンプログラムの実施 エアロビクス、ヨガ、水泳レッスン、その他中高齢者向けプログラムなど	87講座/週 (目標115講座)
通年	パーソナル指導 (ストレッチ、トレーニング) パーソナルストレッチ パーソナルトレーニング	273人 61人 30分:30人 60分:31人
通年	月間イベントの開催 初めての方向けレッスン、プチ体力測定など	年間45回開催
月1回開催	栄養指導 実践型食事学習「ヘルシーランチ」	未実施
2か月に1回開催	健康ミニ講話の開催 5/22, 29 「健康に関するウソ、ホント」 9/18 「肩こりとうまくつきあうためには」 10/8, 16 「健康な身体はきれいな姿勢から」 10/17 「リバウンドしない究極のダイエット」 11/16, 17 「糖質抜きダイエットについて」 12/2 「頭もカラダもスッキリ」 1/14, 15 「血圧の話」 2/22 「認知症の話」 2/25 「シューズで変わるあなたの走り方」 3/4, 24 「ランナーズトレーニング」	46人(2回分) 39人 45人(2回分) 15人 43人(2回分) 22人 44人(2回分) 18人 17人 30人(2回分)

平成27年度 事業報告
 (公益目的事業1) 健康増進及び体力向上に関する研究並びに運動療法実践施設の運営事業

年間4回開催	<p>健康体験イベントの開催</p> <p>自然の中での運動、観光、食などを組み合わせたプログラム</p> <p>4/13「春爛漫、自然満喫ツアー」 福井方面（丸岡城、あわら温泉近辺等）</p> <p>6/30「ぶらーり加賀の旅」 加賀方面（ゆのくにの森、山ノ下寺院群等）</p> <p>2/4「お食事&ゆったり温泉でリフレッシュ」 ホテルアローレ</p>	<p>23人</p> <p>23人</p> <p>14人</p>
年間3回開催	<p>さわやかウォーキングの開催 （小松市木場潟公園にて） 参加自由、無料 ウォーキング、親子元気体操など</p>	<p>4/11(土)</p> <p>7/11(土)</p> <p>10/10(土)</p> <p>50～60人/回 （目標：100人/回）</p>
8月	<p>夏まつり（無料開放）の開催 スクール発表会、カルチャー作品展示、 健康度測定、特別レッスン、健康講話、 チャリティバザーなど</p>	<p>8/9(日)開催 来館者 約1000人 （目標1,000人）</p>
1月	<p>お正月イベントの開催 書き初め、特別レッスンなど</p>	<p>1/4(月)開催</p>
2月	<p>厚生労働省 指定運動療法施設としての運動療法の実践及び運動療法実施証明書の発行</p>	<p>発行数 211枚/年</p>
通年	<p>「ウエルダイナミック」運営（小松市符津町） サーキット形式の運動を中心とした短時間・簡易型の運動プログラム提供 7月から女性専用の運動施設とした</p>	<p>登録会員数 128名(3月末) 9月リニューアルオープン</p>

1-3 ジュニアスクール・カルチャースクール事業

1-3-1 ジュニアスクールの開催

子どもの発育発達段階に合わせた種目・カリキュラムに基づき、運動の楽しさとスポーツの素晴らしさを体感し、生涯の生かせる運動習慣を身につけてもらうことを目的とする。さらにはスポーツ活動を通じて豊かな人間性を養うとともに心身の健全な育成を目指す。

通年	ジュニアスクール 幼児・小学生水泳教室、スポーツ塾、 トランポリン、空手、チアリーディングなど	19 講座/週 登録者数 522 人
年3回および通年	ジュニア体験教室 水泳、トランポリン、チア、ヒップホップなど	水泳 36 名 (うち29名入会)
5月	ジュニア 走り方教室 (小松市桜木体育館) ジュニア跳び箱教室 (ダイナミック)	5/30(土) 21 人 10/18(日) 8 人
7月下旬~8月下旬	夏休み ジュニア短期教室 (幼児・小学生) 水泳、スポーツ塾、食育クッキングなど I 期 : 7/21~24 II 期 : 7/27~31 III 期 : 8/17~21	 77 人 87 人 19 人
1月上旬	冬休みジュニア短期教室 (幼児・小学生) スポーツ塾	1/5~7 参加者 23 人
1月~2月	ジュニア スキー教室 (白山一里野温泉スキー場) I 期 : 1/17 II 期 : 1/31 III 期 : 2/7	27 人 17 人 28 人
3月	ジュニアスクール発表会	3/20 (日) 参加者 60 人
3月下旬	春休みジュニア短期教室 (幼児・小学生) スポーツ塾、水泳	未実施

1-3-2 カルチャースクールの開催

運動・栄養・生活・保養の4つを基本に健康増進を幅広く進めるためには、身体の健康はもとより心も豊かにする必要がある。そのために文化的な要素を取り入れ、学び・楽しむ機会を提供するとともに、文化・スポーツの発展につながるような活動を行う。

通年	カルチャースクール 実用書道、水彩画、油絵、パッチワークなど	15 講座/週 登録者 51 人
通年	スポーツスクール 社交ダンス、バレエエクササイズなど	10 講座/週 登録者 59 人
年 2 回 および通年	カルチャー体験教室 年 2 回の体験教室、及び通年での体験受け入れ	体験教室未実施 体験は随時受入

1-4 中・高齢者の生きがい・健康づくりの場「やわた倶楽部」の運営事業

高齢化社会が進行する中で、介護予防や認知症予防の観点から、軽運動や文化的な活動などを通して、中・高齢者や体力に自信のない方向けの「生きがいづくり・健康づくり」の場を提供することを目的とする。

やわた倶楽部

中高齢者や低体力者向けに軽運動やカルチャーなどの教室やコミュニケーションの場を提供し、生きがいづくりを支援するやわた倶楽部の運営。

(講座内容)

楽しく体操、ゆっくりストレッチ、女性のための麻雀教室、頭のおもしろトレーニング、かんたんスケッチなど

(平成 28 年 3 月末 登録者数 77 人)

(公益目的事業2)

健康づくりや体力向上の支援・研究および競技力向上のための支援・研究事業

2-1 地域・職域における健康増進普及支援に関する事業

健康づくり、介護予防、健康意識の啓蒙普及などを目的に、栄養、運動、規則正しい生活、保養の観点から自治体や医療保険者、企業、団体などの加入者や職員また住民を対象としたセミナーや講演、実技指導、健康相談等を実施する。

2-1-1 地域・職域を対象とした生活習慣病改善事業

生活習慣病改善のための健康セミナーの開催および支援

通年	健康増進を支援する健康コンシェルジュサービス 「中小企業向けテーラーメイド型健康支援サービス」	介入企業 4社 (目標5社)
4月、5月	新入社員への健康づくりの研修 (講演、運動実技など)	3社 (1社)
4月～2月	勝木グループ職員 健康サポート作戦 有所見者・メンタルヘルス対策、健康情報発信等 ・個別面談 ・エアロボックスポイント (グループで運動量に応じたポイントを競う)	26名 135名参加
6月～12月	宿泊型新保健指導試行事業の支援 (スマート・ライフ・ステイ)厚生労働省研究事業	勝木会受託事業 13名参加

2-1-2 介護予防・ロコモティブシンドローム対策事業

筋力向上トレーニングや低栄養、口腔ケアなどの指導

通年	まちなか健康倶楽部 (小松市中心商店街) 生活習慣病、ロコモ対策としてレッスンなどを実施	週1回開催 延458名参加
随時	自治体・地域・企業に向け腰痛予防教室などの開催	

2-1-3 講師派遣

自治体および企業、団体ほか

運動、栄養、ライフスタイル、メンタル、睡眠、禁煙、運動実技など

随時	生活習慣病関連 講演、運動指導など	自治体・企業 各種団体など
随時	食育・スポーツ栄養関連 講演	小・中・高校、 運動部など
随時	地域医療 健康カフェへの講師派遣 (芳珠記念病院などとの連携)	クアハウス九谷 などでの展開
通年	小松市内いきいきサロンへの講師派遣	全20ヶ所
4月～10月	小松准看護学院への講師派遣 (栄養学、体育学講義、体育実技)	小松准看護学 院ほか
7月～10月	すえさみこども園 スポーツ指導	すえさみ こども園
8月・11月	公立学校共済組合石川支部への講師派遣	小松・金沢・ 七尾にて開催
9月～3月	金沢星稜大学 人間科学部 スポーツ栄養学 講義	金沢星稜大学

2-1-4 健康フェアやスポーツイベントでの健康度測定、体力診断、ライフスタイル調査、栄養調査など

9月	小松鉄工機器組合 体力測定	14名
11月	早寝早起き朝ごはん運動 小松市民大会 (健康づくりイベント等での健康度および体力測定)	延117名に測定

2-1-5 健康増進普及を目的とする他施設の運営支援

通年	能美市温泉保養館「クアハウス九谷」 指定管理者としての管理・運営 (北陸体力科学研究所・ビー・エム北陸 共同企業体)	指定管理期間 (5年間)の 2年目
随時	兵庫県播磨町「播磨町健康いきいきセンター」 指定管理者(株式会社 linkworks)への運営支援	

2-2 スポーツ教育・トレーニング支援研究事業

競技力の向上を目的に、スポーツに関する医科学的な検査・測定ならびに運動、栄養、心理面のサポートプログラムを提供する。

2-2-1 スポーツ医科学サポート概要

- (1) スポーツ医科学測定
 メディカルチェック、形態測定、専門体力測定、スポーツビジョン測定など
- (2) 栄養調査、栄養指導
- (3) 心理調査、メンタルトレーニング指導
- (4) トレーニングプログラムの作成、トレーニング指導
- (5) スポーツ医科学に関する講演
 トレーニング、スポーツ栄養、メンタルトレーニング法、スポーツ障害予防

2-2-2 スポーツ医科学サポートの主な事業内容

通年	N T C (ナショナルトレーニングセンター) 競技別強化拠点施設トレーナー等派遣事業 カヌー競技ナショナルチームの医科学サポート ～木場潟公園カヌー競技場ほか～ トレーニング、コンディショニング、体組成測定、栄養面の支援	ナショナルチーム約10名
通年	石川県科学的トレーニング特別強化事業 ～いしかわ総合スポーツセンターほか～ 調査・測定およびトレーニング、栄養、メンタル面の支援	高校生、成人約100名
通年 (平成26年度～)	いしかわグローバルアスリート支援事業 医・科学サポート事業、コンディショニング指導事業他	該当競技団体からの要望により決定
通年	小松市体育協会「スポーツ医科学研究事業」 選抜選手へのサポート(体力測定およびトレーニングプログラムの作成・指導など)	小松市内 中学生15名

平成27年度 事業報告
 (公益目的事業2) 健康づくりや体力向上の支援・研究および競技力向上のための支援・研究事業

通年	小松市選手の育成・強化と科学トレーニングの実施 ・幼児（コーディネーショントレーニング教室の開催） ・小学生（ジュニアスポーツセミナーの開催） ・中学生（選抜選手へのサポート） ・高校生（選抜2運動部と選抜選手へのサポート） ・指導者研修会の開催 ・保護者向け栄養等研修会	小松市内 ・幼児 30名 ・約 250名 ・約 10名 ・約 70名 ・年 2回 ・年 2回
通年	女子バレーボール企業チーム医科学サポート (いしかわ総合スポーツセンター他) 体力測定、栄養・メンタル指導ほか	・約 15名
年 3 回	スポーツ医科学セミナーの開催	・約 150名
通年	地域を活用した学校丸ごと子どもの体力向上推進事業（石川県教育委員会より受託） 小学校モデル校 1 校(七尾市立徳田小学校)への体力向上プラン実践	県内小中学校 348 校 約 83,600 人分

2-3 こまつクロスカントリー大会の開催

自然に親しみながらスポーツを楽しむ機会の創出と、健康づくり意識の向上を目指して開催する。本大会の特徴として、スピードを競うタイムレースだけでなく、3人1組で事前に申告したタイムと実際のタイムの差を競うレースも行い、幅広い年代が参加できるような工夫をしている。

また、骨強度測定、マッサージ等の無料体験コーナーを設置し、健康づくりの啓蒙普及を行う。

6月7日（日）	花・緑・スポーツ・温泉・九谷の里 健康村主催 「第31回こまつクロスカントリー」運営支援 (小松市憩いの森にて開催)	申込者数 1,013名 (目標1,000名)
---------	--	------------------------------

(公益目的事業3) スポーツ診療及び公衆衛生・健康管理事業

3-1 スポーツ診療事業

厚生労働省指定運動療法施設として、運動リスクや疾病の有無の確認と安全で効果的な運動処方を提供するためのメディカルチェックを実施し、専門スタッフのサポートのもとで生活習慣病や肥満、運動器などの疾患の改善を目的とした運動療法を実施する。

3-1-1 メディカルチェック

通年	メディカルチェック (一般、ダイナミック会員)	年間 663 人 (目標 600 人/年)
通年	健康度測定 体組成測定、骨強度測定、動脈硬化度測定など	体組成測定 1,721 件

3-1-2 運動療法

通年	健康いろは塾 心臓リハビリテーション終了者や運動器の術後の方、疾患の種類により手厚いサポートが必要な方などを対象に、病院との連携をもとにした専門チームによるサポートを提供	週 4 回開催 3 月末登録者数 44 人 (目標 40 人/月)
通年	プレミアサポート (メディカルコース、ダイエットコース) 定期的な検査と専門スタッフによる個別カウンセリングなどの包括的サポートプログラム	3 月末登録者数 19 人 (目標 30 人/月)
月 2 回開催	スポーツ健康カウンセリング アスレティックトレーナーによるスポーツ障害を中心としたサポート	年間 71 人 (目標 240 人/年)
週 2 回開催	パーソナルコンディショニング 理学療法士による運動器の機能チェックやトレーニングのサポート フットケアおよびインソール作成	年間 214 人 (目標 240 人/年)

3-2 公衆衛生・健康管理事業

企業の従業員の健康度向上を目的とした産業医活動、メタボリックシンドロームの予備群・該当者に対する特定保健指導、職域や地域住民への疾病情報の提供と疾病の蔓延防止のための予防接種などを実施する。

3-2-1 産業医

労働安全衛生法に定められている産業医活動に基づき、企業を支える従業員一人ひとりの健康度向上を目的として、企業訪問・職場巡視、健康診断後のフォロー支援、健康・医療の相談、健康管理に関する教育等を行い、健康で快適な職場づくりを支援する。

通年	平成27年度契約先	29社
----	-----------	-----

3-2-2 特定保健指導

「高齢者の医療の確保に関する法律」に基づき、メタボリックシンドロームの予備群・該当者に対して特定保健指導を実施し、生活習慣改善を支援する。

9月～3月	小松製作所健康保険組合 (被保険者) 栗津工場、金沢工場、大阪工場、 コマツキャブテック、ハウメットジャパン、コマ ツキャステックス、 (被扶養者) 石川地区、富山地区	約300名 (目標400名)
通年	ほか1共済組合 4健保組合	約200名 (目標200名)
通年	集合契約B	約20名 (目標10名)

3-2-3 その他保健指導

通年	小松製作所健康保険組合 ヘルスアップセミナー	約120名 (目標200名)
通年	重症化予防事業 伊藤忠連合健康保険組合、横河電機健康保険組合 千葉県四街道市	業務内容 電話で受診勧奨 を行う、健診結 果の問い合わせ 対応 等

3-2-4 健康相談ほか

通年	一般診療	0 件
通年	和温療法	20 名/月 (目標 25 名/月)
通年	個別カウンセリング 健康相談、栄養相談、ストレス相談	

(公益目的事業4)

石川県民の健康増進、体力向上及び生涯スポーツの支援と科学的トレーニングの支援研究事業

石川県民の健康増進や体力向上、また競技力の向上、生涯スポーツの振興を目的として、石川県のスポーツ振興の中核的拠点施設「いしかわ総合スポーツセンター」の指定管理者である石川県体育協会グループの構成団体としてその運営に携わる。

4-1 トレーニング部門の管理運営事業

「いしかわ総合スポーツセンター」の指定管理者の構成団体としてトレーニングルーム及びプール、体力測定室の管理運営を行う。

- (1) トレーニングルームおよびプール利用者の入退館管理および安全管理
- (2) トレーニングルームおよびプール利用者への指導助言
- (3) トレーニングプログラムの作成及び指導
- (4) トレーニングおよびプールの機器類の維持管理

トレーニングルーム利用人数	142,103 人／年	(H26 : 133,143 人／年)
プール利用人数	50,378 人／年	(H26 : 46,759 人／年)

4-2 科学的トレーニング推進事業

競技力の向上を目的に基礎体力測定、専門体力測定、栄養調査、心理調査等を実施し、測定データの分析、プログラムの提供、トレーニング指導などを行う。

- (1) 基礎体力測定
- (2) 専門体力測定
最大筋力、筋持久力、最大酸素摂取量、動作分析など
- (3) スポーツ心理
- (4) スポーツ栄養
- (5) トレーニング処方
- (6) 測定データの管理、分析
- (7) 測定機器類の維持管理

体力測定実施人数	2,288 人／年	(H26 : 2,619 人／年)
----------	-----------	-------------------

科学的トレーニング特別強化事業 チームいしかわアスリートクラブ (T I A C)

- ・ A指定選手への専門体力測定（年間2回）の実施及び
トレーニングルーム、プールの施設利用
（成年62人、少年43人、計105人）
- ・ B指定選手
希望者（団体）に基礎体力測定の実施及び
トレーニングルーム、プールの施設利用
（成人138人、少年99人、計237人）
- ・ 三期指定選手（約1,000人）
希望者（団体）のトレーニングルーム、プールの施設利用

競技力向上のためのセミナー開催チーム石川・競技力向上セミナー

- ・ 現場直結メンタルセミナー（H27年5月30日：参加者47名）
「競技力向上・実力発揮のためのイメージトレーニング」
～イメージ次第でプレーや行動が決まる?!～
（金沢大学：村山孝之先生）
- ・ 現場直結栄養セミナー（H27年11月28日：参加者74名）
「オリンピック選手の基本の食事」
～トップアスリートは何を食べて強くなったか?～
（国立スポーツ科学センター：亀井明子氏）
- ・ チーム石川選手とその他の選手向けに理学療法士によるスポーツ障害および姿勢評価等の実施（石川県理学療法士会）

学校等の受け入れ

- ・ 県内高校硬式野球部スポーツ医・科学測定&指導
（県立工業、辰巳丘、二水、輪島、金沢桜丘など）
- ・ 北陸学院大学短期大学部の授業の一環として
基礎体力測定を実施

4-3 生涯スポーツ振興事業

生涯スポーツの振興を目指し、幅広い年齢が目的に応じて楽しく運動できる環境を提供するために集団でのレッスンや各種スポーツスクールを開催する。

(1) レッスン (集団プログラムの実施)

エアロビクス、ヨーガ、ピラティス、アクアビクスほか

開講数：1,466本/年 (H26：1,572本/年)

参加人数：41,284人/年 (H26：41,608人/年)

(2) スクール

(成人向け) テニス、スイミング

(ジュニア向け) テニス、サッカー、バスケットボール、チアリーディング

こども運動塾

(中高齢者向け) 元気サポート塾

(運動療法者向け) ここからプラス塾

開講数：31本/週、1,237本/年 (H26：32本/週、1,337本/年)

登録人数：934人/年 (H26：1,048人/年)

参加人数：7,800人/年 (H26：8,920人/年)